



横浜市立富岡小学校

# 学校だより 7月号



<花壇のアジサイ>

梅雨の晴れ間をぬって、ペア学年による体力テストが行われました。本校では、様々な活動場面でペア学年による活動を行っています。6月13日のなかよし給食もその一つです。

さて、4月5日にスタートした新学期も早いもので夏休みまであとわずかとなりました。7月21日より8月27日までの37日間、家庭や地域で過ごす期間となります。学校でも夏休みの過ごし方の指導はいたしますが、家庭や地域でも子どもたちが安全で充実した日々が過ごせますようご協力をよ

ろしくお願いいたします。

## 「ふれあい活動」で心を育てています ふれあい清掃

清掃場所まで移動をするときに、さりげなく手をつなぎ歩く微笑ましい姿、草取りの仕方を教える上級生、虫を見つけて名前を語り合うペア学年の子どもたち、昔のまちの様子、学校の歴史を子どもたちに語る地域の方の姿など草取り、清掃という活動の中に豊かなかわりが生まれていることがわかりました。

また、活動の後、参加してくださった方々と活動の振り返りや子どもたちからの感謝の言葉など短い時間ではありましたが充実した時間となりました。保護者の方の声に地域の方々の学校に対する愛情、見守りに感謝の言葉がありました。社会の第一線を退いた後、地域の学校、144年の歴史ある母校のよりよい環境づくりにと愛情を注いでくださっていることを今回の活動を通じて感じます。ありがとうございます。



## 「まちの宝」 郷土資料室の整備

本校第二校舎4階には農業、漁業、まちの歴史写真等貴重な資料が多数保存されています。創立100周年では、まちや学校の歴史を整理した記念誌の発行。120周年では、資料室の整備が進められました。その後、年数回の清掃、授業での活用を図ってきましたが、展示品の表示等の補修の必要性、効果的な活用を図るための展示の模様替え等を考え横浜市歴史博物館の学芸員の方々の協力を得て整備をすることになりました。整備後は、維持管理について学校運営協議会の方々と相談しながら学校だけでなく、まちの宝として有効活用を図ってまいりたいと考えています。

## 地域の方々の力 花壇隊のみなさん「緑化活動」

傷みの進んでいる樹木がこのところ目立ってきました。安全上、伐採することになりその後の植樹について考えてきました。環境創造局農業振興課の「市民協働&公共緑化事業」を知り申し込みました。ドウダンツツジ、モクセイ、アジサイ、サルスベリ、ヤマモミジ、ヤマブキの苗木180本をいただくことができました。早速、花壇隊の方々に声をおかけしましたところ、苗木引き取りのトラックの手配や植樹の日程等を検討してくださいました。運動会の前に運動場前、体育館裏、西門横、第二・三校舎裏の花壇に植えてくださいました。運動場については日陰がほしいと思っていたところで、サルスベリ、ヤマモミジを運動場に面した花壇に植えてくださいました。日陰のできる樹木に成長するまで5年から10年という時間がかかりますが、暑い日にも日陰でくつろげる場所ができそうです。作業をしてくださった花壇隊の皆さんありがとうございました。子どもたちの成長とともに樹木の生長も一緒に見守ってください。

(校長 菅沼 伸一)